



特集2

デマンドバス 地域の足を守る

市民の移動の利便性向上と公共交通が利用できない地域の解消を目指すために導入されたデマンドバスは、2022年3月に運行が始まりました。利用者は少しずつ増えていて、特に高齢者にその役割を発揮しています。栄町に住む佐山秀子さんは、趣味や買い物などの際に、身近な足としてデマンドバスを利用しています。

移動手段の選択肢があれば

佐山さんは切り絵が趣味で、市内外の教室に通っています。以前、自宅から離れたコミュニケーションセンターで教室がありました。自宅から目的地まで路線バスを使うことは不便なので、歩いて行くことにしました。知らない道で大きな荷物もあり、大変な思いをしたとのことでした。

手軽で便利 移動を楽しく

その後、デマンドバスの運行が始まりました。乗降ポイントは佐山さんの自宅から徒歩1分の場所にあり、頻繁に訪れる地域は運行エリア内になっているとのこと。早速、電話で乗車日時と乗降場所を伝え、予約を入れました。当日、乗降ポイント

でバスを待っていると、時間どおりに現れ、指定の場所まで送り届けてくれました。

今では路線バスとデマンドバスを併用する佐山さん。電車に乗るときも、自宅と駅の往復にデマンドバスを利用します。バスの予約は30分前まで対応。出先でも帰りの時間が分かれば手軽に予約でき、「便利。ずっと利用したい」と笑顔を見せます。

現在、デマンドバスは日曜日と祝日は運休で、A、B、Cと3つに分けられたエリアをまたいだ運行は行っていません。佐山さんはより便利になることを期待しつつ、自宅があるAエリアから、Bエリアの白沢地域の友人宅へ乗り継いで行くことを目標とし、

切り絵歴30年以上の佐山秀子さん。切り絵の良き一つは無心になれること。



「行き方を考えることは脳トレになる」と前向きです。

免許返納の後押しに

他地域と同様に高齢化が進む利根沼田地域は、生活に車が必要品です。自動車運転免許返納の呼び掛けや、高齢者がブレーキとアクセルを踏み間違えて事故を起こしたという話題があふれていても、時間やエリアが限られる公共交通の不便さを考えると、運転免許を手放す決断に踏み切れない人は多いでしょう。

この解消に向けて、移動手段の1つにデマンドバスを取り入れてみてはいかがでしょうか。マイカーに依存しなくても外出を楽しめ、充実した生活を続けられるでしょう。